

北相木村の山村留学について



北相木村は信州の東、八ヶ岳の麓にある小さな村ですが、縄文時代の貴重な遺跡もあり、大昔から人が住んでいた自然豊かなところです。ここでの山村留学は、四季折々、美しい自然を生かした活動を中心に、農業体験や生活体験、また流し雛(かなんばれ)など、伝統行事にも触れることができます。

親子で暮らす親子留学もあります。(別紙参照)

【目指しているもの】

豊かな自然と人の情あふれる北相木村。そこに来て一年二年と暮らす中で、子ども達が本来持っている個性や感性、創造力や行動力を呼び覚まします。また、親元を離れてみんなと暮らすことで、自主自立の精神や忍耐力を養い、心身ともに元気で逞しい人間形成を目指しています。一年のなかでは楽しいだけでなく、辛いことや厳しいこともあります。それも大事な体験と考えています。

北相木村は、地元の子も山村留学生も、同じ村の子として大切に見守ります。そして、この村を自分の故郷として心に残ることと、いつでも戻ってきてくれることを願っています。

【生活環境について】

- 北相木村の山村留学は、『センター・農家 選択併用式』です。これは、留学センターだけで暮らす“センター式”と、留学センターと受入農家を併用する“センター農家併用式”のどちらも選択できるということです。これにより、参加者の希望に幅広く応えられるようになっています。(ただし、併用式は受入農家数の関係で、希望者全員が通年とは限りません。農家泊数は毎月5~10日です。)
- センターでは専任の指導スタッフが常駐しています。また地元の方にもご協力いただき、野外活動や農業など様々な体験学習を取り入れています。
- 異年齢による集団生活のなかで、協調性や思いやり、忍耐力を培っています。
- 農家ではアットホームな雰囲気の中、その家の一員として暮らします。
- 学校は村立の北相木小学校に、地元の子も達と一緒に通って勉強しています。北相木小学校は少数校ですが、少人数だからこそアットホームな雰囲気の中、充実した学習および生活の指導が行われ、個々の感性や能力を伸ばしています。
- 北相木小学校は、先進的な取り組みとして民間教育団体(花まる学習会)と提携し、学習意欲や考える力を伸ばす学習指導を取り入れています。
- 学校、農家、山村留学センターおよび村の教育委員会は、常に連携をとって子どもたちの育成と生活の安全を見守っています。
- 山村留学センターではテレビを見ません。また、ゲーム機、電話、オーディオ機器などは、持ちこまないことになっています。ここでは、テレビやゲーム等に依存せず、そんなものがなくても楽しく、充実した毎日が過ごせることを目指しているからです。



【山村留学センターの主な活動】

自然体験活動：川遊び、森遊び、山菜採り、キャンプワーク、トッキング、スケート、スキー、ソリ遊びなど

農業体験活動：稲作(田植え・稲刈り・脱穀など)・畑づくり・きのこ植菌・味噌作り、リンゴ収穫体験など

その他の活動：和太鼓・エイサー、坐禅体験、美術館や博物館の見学。

また日々の生活の中で、身に着けておきたい大切な基本的な生活習慣として、食事作法、挨拶、掃除など、取り組んでいます。

11月上旬に村の文化祭で、体験発表をします。

※活動内容については、常に検討や見直しを行っています。

また、天候や状況によって柔軟に対応するようにしています。



キャンプワーク

稲作体験

ソリ遊び

森で遊ぶ

【体験費用】

◎月謝 67,000円×12か月(内訳：食費、宿泊費、生活指導費、および基本的な活動費等。)

※兄弟姉妹で留学している場合は、1人52,000円×人数になります。

◎入村金 100,000円(年度当初のみ、継続は50,000円。山村留学保険料や施設準備費用など)

◎その他 **学校経費** 給食費：6,210円×10か月(尚、村の補助があり半額が後日還付されます)

学級費：1,500円×10か月、

P T A会費：年2,500円(経費は年度によって若干の違いがあります。)

※上記の学校経費は前年度の金額です。年度によって若干の変更もあります。

個別経費 個人的な買い物(文房具や日用品)や、医療費、帰省帰村時の交通費、特別な教材費や、活動費(舞台公演や美術館の見学)等は、個人にかかる費用としてその都度ご負担をいただいています。個人差はありますが、平均すると月2,000円くらいです。高額になる場合は、事前にご相談いたします。



エイサー



和太鼓



スキー